

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

SGH SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

Vol. 95

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園: (022)777-6777
小学校: (022)777-3777
中学校: (022)777-5777

平成30年
12月13日発行

<http://www.sendaishirayuri.net/>

わたしの兄弟である
この最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。
(マタイ25:40)



Merry Christmas

I heartily send all good Christmas
wishes to you and your family.

仙台白百合学園

2019年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kinder-garten

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6777
E-mail:office3@sses.jp
<http://kd.sendaishirayuri.net/>
ロンちゃんBlogも
ご覧ください。
ロンちゃんブログ



お知らせ

11月1日に2019年度の入園手続きが終了いたしました。
なお、転入や入園に関することにつきましてはお問い合わせ下さい。

小学校

Elementary school

お問合せ・連絡先
〒981-3205 仙台市泉区紫山1-2-1
TEL:777-3777
FAX:777-3778
<http://el.sendaishirayuri.net/>
しらゆりノートもご覧ください。

募集人員

●第1学年
女子70名(併設幼稚園の入学者を含む)

出願期間

●新1年生の入学願書、受け付けております。
※2・3・4・5年生の転入に関しては、
随時受け付けております。

出願手続き

●必要書類及び検定料を小学校受付に提出してください。
※本校指定の入学願書



お知らせ

2016年度新1年生より、算数を英語で学ぶCLILコースがスタートしました。
定員20名(募集人員70名を含む)

中学・ 高等学校

Junior &
Senior High School

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-5777
<http://www.sendaishirayuri.net>
学園の日常生活をつづる
「紫山日記」もご覧ください。

中学校

入試日

2019年1月7日(月)

試験科目

●国語・算数・
面接

募集人員

●120名
●特典
英検3級以上保持者は国語・算数の
高い方の点数に100点を加えます。



高等学校・全日制

入試日

●推薦入試
2019年1月16日(水)
●A日程
2019年2月4日(月)
●B日程
2019年2月6日(水)

専願・一般
(全コース)

募集人員

●LIコース(総合進学)…………… 155名
●LSコース(特別進学)…………… 40名
●LEコース(英語・留学)…………… 30名
※石巻会場(石巻市立門脇中学校)でも受験できます。

エンカレッジコース 通信制課程

Encourage Course

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6625
百合エンカレッジ 検索

※編入学・転入学は随時受け付けます。

学校説明会

●2019年
1月26日(土)



4月生募集人員

●女子 80名
●対象
宮城県、神奈川県、東京都、
千葉県、埼玉県、新潟県、
福島県、山形県、岩手県、
秋田県、青森県、北海道
に在住する方



出願期間

第I期 2018年12月6日(木)~2019年1月16日(水)
第II期 2019年 2月7日(木)~2019年3月14日(木)

入学考査

第I期 2019年1月18日(金)
第II期 2019年3月16日(土)



125周年記念行事

仙台白百合学園創立125周年記念行事が去る6月30日にレジナパースホールで行われました。当日は感謝ミサ、記念式典、アトラクションが行われ、125年の歴史を振り返るとともに、新たな時代の一步を踏み出す瞬間を来賓の方々、教職員、児童・生徒と共有することができました。小学4年生の躍動感あふれるすずめ踊りから始まったアトラクションでは、幼・小・中高の園児・児童・生徒が一丸となり、一貫校の特色ある教育から生まれる心の籠った演出を来賓の方々にお届けすることができました。それぞれの歌声や演奏はホール内に響き渡り、感動的な時間となりました。

父母教師会、同窓会、旧職員、卒業生の方々にご協力をいただくことによって成功を収めることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。
(125周年実行委員 若松 沙織)



「不登校生を支援するための研究会」開催

～通信制課程エンカレッジコース～ 教頭 阿部 和彦



通信制課程エンカレッジコースは、今年度で5年目を迎えました。現在(12月1日付)93名の生徒が通っています。今年の9月には1人が卒業し、卒業生は75人になりました。3月には42人が卒業する予定です。

このエンカレッジコースが主催して、主に県内の小学校、中学校、高校などに呼びかけ、平成30年10月12日(金)、「不登校生を支援するための研究会」を開催しました。教員やカウンセラーなど教育関係者約40人が参加しました。講師にお迎えしたのは、「FR教育臨床研究所」所長：花輪敏男先生です。

花輪先生は、「不登校」という用語の名付け親でもあり、不登校研究の第一人者です。今、全国を回り、研修会等で教師や親を指導しています。第I部では、「生徒が自信を取り戻す学校を目指して」と題して、エンカレッジコースの5年間の取り組みを紹介しました。第II部では、午前の部に講師の花輪先生から「FR式不登校対応チャート」の講義を受けた後、午後の部では、不登校生に対応するための実技の指導を受けました。第III部の情報交換会では、各学校の現状が報告され、花輪先生から貴重なアドバイスをいただくことができました。

今、小学校、中学校の不登校生の数は、全国的に増加の傾向にあります。特に宮城県では、東日本大震災後、中学生の不登校率は全国ワースト1位の状態が続いています。今回参加した先生方は花輪先生から多くの貴重な示唆を受けることができました。

これからもエンカレッジコースは、本校の生徒たちに関わるだけでなく、他の学校にも呼びかけ、多くの不登校生を支援する役割を担っていきたく考えています。

【参加した先生方の感想から】

- 花輪先生のお話は、現場の課題を直視しておられ、FR式不登校対応チャートによる支援は、目からウロコでした。
- 自分が行ってきた対応が、生徒にとっていかに苦しい選択をさせられていたか、と実感した。圧倒的に技術が不足している。話し方等、日々、意識を高め、訓練をしていきたいと感じた。
- もっと沢山の教師が研修を受け、正しい対応をしていかなければ宮城県の不登校は減らないと思った。このような研修の場を計画的に設定してもらいたい。
- 社会体験を通して生徒の自己肯定感を高めるエンカレッジコースのカリキュラムは、大変理想的であると感じました。

クリスマスメッセージ

クリスマス喜びを共に味わうシーズン



姉の子どもたちと

ティを開いてクリスマスプレゼントを交換したり、クリスマスケーキを食べたりします。

私の地元(インドネシア)ではクリスマスのシーズンに入ると、子供たちはヤシの葉っぱでクリスマス馬小屋を造って、各家庭や教会や学校に置いてあります。

本来はクリスマスの本質は喜びの出来事なのです。約2000年前にお生まれになった救い主であるイエス・キリストの御誕生をお祝いするものです。

新約聖書にこの出来事が記されています。ルカ福音書第二章四節～十一節には「ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いよいよのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。「天使は言った。『恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。』」と記されています。



インドネシア・フローレス島の教会にてミサ入場に民族衣装で踊った子どもたちと

この主イエス・キリストの御誕生は全人類に対する神の愛の現れです。ここで明らかなのは神様は人間から遠く離れた存在ではないと言つことで

私たちは神様の愛のおかげでこの世に生まれて、生きています。この神様の愛は、また、両親や兄弟、姉妹や友達や先生方や周りの人々の笑顔、犠牲、優しさ、指導などを通じて実感することができます。クリスマスは他者への命を共感する期間にもなるのです。

私たちは神様の愛のおかげでこの世に生まれて、生きています。この神様の愛は、また、両親や兄弟、姉妹や友達や先生方や周りの人々の笑顔、犠牲、優しさ、指導などを通じて実感することができます。クリスマスは他者への命を共感する期間にもなるのです。



この世の中には、貧困によって苦しんで病気になる子どもたち、紛争や戦争によって家族を亡くした子どもたち、治安の問題で自分の故郷を離れざるを得ない子どもたちは、誰かいないでしょうか。そういった子供たちはなかなか喜びを感じることができない状況に置かれています。その子供たちのために私にできることは何かということをお聞かせいただければ幸いです。

クリスマスは主の誕生の喜びを味わうと同時に新しい生命の誕生をお祝いするものです。このクリスマスシーズンによって、改めて私たちは、自分の誕生を思い起こし、命の大切さを実感しなければなりません。神様の御前で私たちは一人ひとり大切な存在です。私たちは神様の愛のおかげでこの世に生まれて、生きています。この神様の愛は、また、両親や兄弟、姉妹や友達や先生方や周りの人々の笑顔、犠牲、優しさ、指導などを通じて実感することができます。クリスマスは他者への命を共感する期間にもなるのです。

クリスマスは主の誕生の喜びを味わうと同時に新しい生命の誕生をお祝いするものです。このクリスマスシーズンによって、改めて私たちは、自分の誕生を思い起こし、命の大切さを実感しなければなりません。神様の御前で私たちは一人ひとり大切な存在です。私たちは神様の愛のおかげでこの世に生まれて、生きています。この神様の愛は、また、両親や兄弟、姉妹や友達や先生方や周りの人々の笑顔、犠牲、優しさ、指導などを通じて実感することができます。クリスマスは他者への命を共感する期間にもなるのです。



年長ぐみさんにインタビュー



①おでこにシルフをあげたり、あやしたり、いろいろなおせわをしています。
②『ごものおいのり』かみさまへのおいのりが、たくさんあっていいから。
(まももて)の(か)

①りょうりのおてつだいをしています。とくにざいりょうをまかせのがすきです。
②『にんぎょひめ』えがいてむかひいの。おうちにもあって、おきにいいの。
(あさり)まりな

①おひめをあらったり、やせいをきる、おりょうりのおてつだいがだいすきです。
②『おぼけマンシヨ』おぼけがこぼれて、よとている『ワフワフ』たのしいです。
(こ)か(ま)け(こ)

①おくつをみがいたり、そろえる、げんかんがきれいになって、きもちがいいです。
②『おぼけマンシヨ』おぼけがこぼれて、よとている『ワフワフ』たのしいです。
(こ)か(ま)け(こ)

①おでこにシルフをあげたり、あやしたり、いろいろなおせわをしています。
②『ごものおいのり』かみさまへのおいのりが、たくさんあっていいから。
(まももて)の(か)

①おうちでいもうとで、おんぎょうであそんだり、おてつだいをたくさんするよ。
②『BEST WORD BOOK EVER』えいごがすきだからです。
(あべ)りお



Q1 お手伝い大好き!
Q2 お気に入りの絵本
(ここがおススメ!!)

①きまったらうぶに、ママといっしょにごみすてきしてします。
②『ママのどけいせん』かわいいまじよが、てくてくてくがすき。
(こ)かの(ん)

①あさはやく、ママといっしょに、いぬのおさんぽをするのがすきです。
②『おむかしのどけいせん』いろいろな、きょうりゅうがでてきたのしいよ。
(ま)ま(の)け(い)た

①おりょうりのおてつだいは、まかされたころは、じぶんでやってします。
②『からすのぼんやさん』なんどもよんでいて、せんぶのページがすき。
(う)う(た)か(か)



①せんたくものをたたむとおかあさんがよめることになれるのでうれしいです。
②『ペネロペカサカサ』ええる『すつじが』いっばいでてくるのがおもしろいよ。
(し)も(ま)え(り)か



①ふとんをたたむのが、じょうずにできるようになってうれしいんだ。
②『トリケラトプスのだいまい』むずかしいめいろをゴールできたときがさいごう。
(こ)こ(の)か(な)た

①ぼくがきつたやさいを、サラサにする、みんながよろこぶよ。
②『はらぺこあおむし』あおむしが、いっばいたべるところがおもしろいです。
(お)が(た)ゆ(ん)こ



①あつたをモップでふいたり、ぞうきんがけをしています。
②『おぼけのちかてつたんけん』おぼけなのにごわがらなごころがおもしろいよ。
(ま)ま(の)き(ん)

①あさはやく、ママといっしょに、いぬのおさんぽをするのがすきです。
②『おむかしのどけいせん』いろいろな、きょうりゅうがでてきたのしいよ。
(ま)ま(の)け(い)た

①ハムスターのみずやエサをあげたり、おそうじをしてあげることがすきです。
②『かいけつゾロリ』おたからせんせいのゾロリがいろいろな、おもしろいよ。
(た)か(は)し(こ)も(ま)り

①せんたくものをほしたり、たたんだりして、みんなによるこどももっています。
②『リトルマーメイド』ディズニーのおはなしが、だいすきだから。
(な)な(き)あ(い)な



①おさらをあらって、ピカピカにするのがだいすきです。
②『かぜのひだあひすき』パンをおいしそうに、たべているところがたのしいよ。
(ち)ば(ゆ)り(あ)

①おふるそうじで、いろいろなごころを『ジュジュ』するのがたのしいです。
②『アラジン』まほうつかいが、へんしんするところがおススメです。
(す)ず(き)み(ゆ)



幼稚園

今後の行事予定



1月	
9日	三学期始園日
2月	
8日	縄跳び大会
13日	一日入園
3月	
12日	終園日
13日	卒園式

おしごと紹介



「ぴかぴかになったよー」おしごとをやり終えた子ども達、きれいになった鏡をつれしそつに覗き込んだり、満足気に見せてくれる姿がよく見られます。

クラスには「机を磨く」「木を磨く」「金属を磨く」「靴を磨く」と、磨くおしごとがたくさんありますが、どれも子ども達は大好きです。これらの活動が、子ども達を魅了して止まない共通点は、なんといっても目に見える形で汚れがすつかりきれいになる所と、手順を覚えると、一人で最後までやり遂げられる所にあるといえるでしょう。本物の磨き液を使って、丁寧に汚れを落としている姿は真剣そのものです。



磨くおしごとを通して、皆で使う道具をきれいにする習慣や、物を大切に心が養われています。



大好きな図書室



大きい本も楽しいね。
調べたくなるよ!
年長問わず大人気!
待降節におススメです。クリスマスの本。

ごうさんのお鼻みたい!



十月にヨーデルチロリアンコンサートが行われました。高学年のお姉様方や未就園のお友達と一緒に、笑顔と楽しい音楽があふれる素敵な時間を過ごしました。

象の鼻のように長いアルプホルン、すり鉢のような形のチロリアン。そして、年長さんはカウベルを演奏！今まで見たことのない楽器にドキドキしながらも、皆で心を合わせて綺麗な音を奏でることができました。世界の国の文化を知る貴重な機会となりました。

ヨーデルコンサート



ターラーベックン、手回しの紙巻きオルゴールなど、初めて見る楽器に興味津々。子どもたちにも馴染みのあるクラシック曲や童謡も登場。ヴァイオリンやヨーデルの歌声を聴いて、一緒に口ずさむお友達もいました。

中学・高等学校

Junior & Senior High School

中・高学園祭

九月一日～二日

第63回 学園祭を終えて



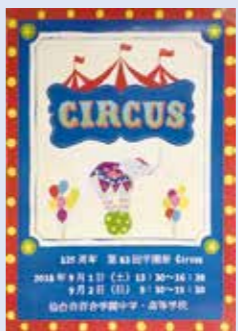
学園祭実行委員長
高校3年
石川 舞琴

九月一日、二日の二日間にあわって開催された今年の学園祭も、多くの方々の協力により大成功を収めることができ感謝の気持ちでいっぱいです。

学園祭のテーマ、「CIRCUS」にはサーカスのように一人一人の才能を活かしつつ、みんなで作り上げていく学園祭にしたいという思いが込められていました。このテーマ通り、今までの学園祭の中で、「二を争うのではないか」と思うほどの盛り上がりを見せたのではないかと感じています。さらに今年は仙台白百合学園創立二五周年の年でもありましたので、学園を振り返る企画や、寄せ書きの旗、生徒会オリジナルマスケットキャラクター選挙など、記念となるイベントも企画しました。

無事に終わることができたのは、生徒会の仲間、先生方、事務所や同級生

の皆さま、全校生徒、その他にも多くの方々の助けがあったからだと思います。次にこの学園祭に関わる後輩たちの参考となれましたら嬉しいと思っています。



高校文芸部の活動報告

文芸部の熱い一年

文芸部 部長

高校二年 菊池 洸美



宮城県高等学校文芸作品コンクール
部誌部門 15年連続最優秀賞!

私たち文芸部は、日々、小説、詩、短歌などの作品創作などを行い一年の集大成として部誌「紫苑」を編集する。その活動がまさに佳境に入ろうとする頃、六月から八月に種々の大会も開かれる。今年の俳句甲子園では仙台会場で優勝を逃し、松山の大会に進めなかったが、盛岡での短歌甲子園に出場することができた。

また、全国高等学校総合文化祭が長野で開催され、私は文芸部詩部門に宮城県の代表として出場した。全国の仲間と交流できたことは実に有意義な体験となった。

刺激的な夏を過ごし、合宿を経て、いよいよ完成した『紫苑五十二号』。手に取ったとき、こみあげてくるものがあつた。そして、宮城県高等学校文芸作品コンクールで十五回連

続となる最優秀賞を頂き、小説、評論、詩、短歌、俳句の個人作品も入賞し、さらに全国コンクールでも入賞が決まった。

第二十三回全国高等学校文芸コンクール入賞

小説部門

優良賞 高校二年 菊池 洸美

琥珀色の夏

短歌部門

優良賞 高校三年 田崎 円

何歳になっても明日は怖いまま
ろうそくの火は揺れているだけ

俳句部門

優秀賞 高校二年 原田 麻衣

冬の雷耳石ぐらりと揺らしけり

部誌部門

奨励賞 「紫苑第五十二号」



「紫苑第52号」

英語暗唱大会



11月2日、中学1年生の英語暗唱大会が行われました。私は英語が大好きで、毎日勉強している科目でもあり、1位という結果はとても嬉しいものでした。本番に向けて練習を重ね、強弱やイントネーションに気を付けながら発表しました。今後向上心を持って英語を楽しみながら学んでいきたいと思っています。

個人の部1位 中里 真理奈

私は必ず1位になりたいという強い思いから、ペアの2人で英語の時間、お昼休みなどに練習を重ねてきました。互いにアドバイスを出し合いながらより良いスピーチになるように練習しました。幼稚園から習っている英語を充分に活かしたとても良い機会でしたので来年も出場して1位を目指したいです。

ペアの部1位 藤巻 陽菜



初めての暗唱大会でとても緊張しましたが、1位になることが出来てとても嬉しいです。英語を正しく発音することはもちろんですが、聴き手にきちんと伝わる英語を意識して表現することに力を入れました。また、ペアと息をピッタリ合わせて暗唱することができました。これからは英語の勉強に力を入れて頑張りたいと思います。

ペアの部1位 福田 妃莉

高校放送部

高校放送部 部長

高校二年 佐藤 美宇

放送部は全国大会出場を目標に、日々元気に活動しています。

十一月におこなわれた新人大会は、一二年生だけで挑むはじめての大会でした。特に一年生は初の番組作り挑戦し、戸惑うことも多かったようですが活動をおしてチームワークを強めることができました。

二年生はオーディオビクチャ部門で最優秀賞をいただくことができました。加えて、来年夏の全国高校総合文化祭祭賞大会への出場権も獲得しました。先輩方が二連覇をしてくれたため、決勝大会で最優秀賞に選ばれたときは本当にうれしかったです。なんとか三連覇を達成できました。ご協力頂いた皆さん、応援してくださった皆さん、すべての方に感謝申し上げます。

来年夏のNHK杯全国放送コンテストに向けて部員一同気持ちをひとつにして頑張っていきたいと思っています。



3連覇を達成できました！
応援ありがとうございました！！

自然教室事後学習 まめぶ作り

中学二年 森 風歌

今回のまめぶ作りを通して、岩手県久慈市の郷土料理である「まめぶ」の作り方を学ぶことができました。まめぶを作るためには、小麦粉にお湯を使ってやわらかくするので熱く大変でした。地区によって味が違い、どちらもおいしかったです。

実際に作ってみると、くると黒砂糖がなくてもおいしいことが分かりました。自然教室のことが思い出されて懐かしかったです。

まめぶ作りの冊子ももらい、まめぶの団子が「まり魅」に似ていることから「まめぶ」と呼ばれ、これがなまって「まめぶ」となったことなど、まめぶの由来について知ることができました。久慈市の方々が優しく教えてくれたので楽しく、おいしいまめぶを作ることができました。とても良い経験になりました。



道南修学旅行 探究活動

中学三年 山本佳乃子

私たちの班は「函館の生産物とお菓子にはどのようなつながりがあるのか？」というテーマで修学旅行の探究活動をしました。

函館のたくさんのお菓子の中から、いくつかを選び、行く場所を決めたり、ポイントメントを取ったりすることは大変でしたが、班の皆と協力して作業することは楽しかったです。

アンジェリックウオヤージュでは、日本人の口に合うチョコレートの材料へのこだわりについて学びました。プティ・メルヴィーユでは、社長のお菓子づくりへの思いも聞くことが出来ました。カドウフーズでは、工場見学をしながら、はじめて雪ん子の作り方を学びました。

実際に話を伺い、どの会社でも食べる人一番を考えてお菓子を作っていることが分かりました。優しい函館の方々のおかげでよい体験ができたことに感謝したいと思います。



おいしいお菓子づくりを体験!!

花を届け隊

高校二年 草加 みづ紀

私たち「花を届け隊」は、学校で育てた花を東日本大震災で特に被害が大きかった本吉郡南三陸町に届けたり、現地で漁業や農業のお手伝いをしたりしています。この有志団体は、震災発生から二年後、当時の高校三年生が県内で被災された方々の力になりたいという思いから結成され、現在は中学・高校合わせて四十名ほどで活動しています。

私は、被災された方々に少しでも笑顔になっていただきたいという思いから活動に参加するうちに被災地のことを自分の問題として考え、積極的に行動できるようになりました。これからも、復興が進む街に彩と笑顔を届け、素敵な街づくりのお手伝いをする団体であり続けたいと考えています。



「宮城県知事賞」いただきました！
2019年商品化されます!!
▲食材の彩り鮮やか「みちのく玉手箱」



震災で被災された方々に
素敵な花をお届けします!

修養会

十月十六日、各学年ごとに講師の方をお迎えし、修養会が行われました。

中学生の感想から

中学一年 笹口 舞

平和とは「愛すること」と「喜び」で生まれるのだと分かりました。平和は一人で作ろうとしても簡単にできません。全員が「平和」という目標に向かって支え合い、優しくだと思えました。

講話の中で、イエス様は「隣人への愛」「人への赦し」「平和の実現」を大切にしていると聞きました。私もこの三つを実行して平和へと近づきたいです。

また、「当たり前」についての話を聞き、みんなが当たり前の生活を送るということは「平和」につながる



中学1年「平和」
高松 誠先生
(盛岡白百合学園中学校・高等学校)



中学2・3年「平和」
関谷 義樹 神父様
(サレジオ修道会)

のではないかと思います。その「当たり前」を与えて下さる神様や周りの人々に感謝して、これからの毎日を過ごしていきたいです。

中学三年 道又 蒼空

「平和」について考えた今回の修養会では、たくさんの学びがありました。

その中でも私が特に印象的だったのは、「自己肯定」によって、平和が生まれるというお話です。ありのままの自分を受け入れ、自分を肯定することができない人は、他人を受け入れることもできないこと。自分はユニークな存在であり、周りとは比べる必要がないからこそ、かけがえない自分のミッションを見つけ出すこと。これらのお話から自分が唯一の存在であること、そして価値や意味を見い出すことが大切だということに気づくことができました。

自分が持っているものの価値を知ることが平和を実現することにつながる

高校生の感想から

高校一年 高橋 七海

がるといふことを心に留め、周りとの喜びを分かち合いながら、まずは「自分の中の平和」から実現させていきたいです。

一年に一度の修養会。今年度のテーマは、「よろこび」でした。ロザリオのマリア聖堂で行ったのでより一層修養会の雰囲気を感じました。伊藤淳神父様はお話しの中で「三ヶ月間、三十分でいいので祈ってみましょう」とおっしゃっていました。私は、三ヶ月間で願いが叶うのかと疑問に思いました。しかし、神父様によると、実際に祈りが届いた方がいたと知り驚きました。また、今までミサの意味がわからず、その場の雰囲気に合わせて参加していたのですが、今回、意味や流れの解説を覚えていただいたのでとても勉強になりました。私は、中学校の修養会と違う雰囲気の中で「よろこび」のテーマを味わうことができました。「神がいる喜び」「神を知る喜び」「神に愛



高校1年「よろこび」
伊藤 淳 神父様
(東京教区)

される喜び「この三つの喜びに感謝して学園生活を過ごしていきたいです。」

高校二年 佐藤 瑞希

講話が始まり、なぜ「食」にスポットを当てて話が進むのだろうか疑問に思いましたが、薬物依存の理由の一つとして空腹があるとは想像もしていなかったので驚きました。「生きる」「存在する」ということに関して日ごろから「生きることは食べること」「日々の食は希望の光」と意識していないことや意味を感じていないという結果が、非行を招く一因にもなると知りました。子ども食堂の活動や「あなたが大切」というメッセージを伝えることの重要性を考えさせられました。

「いただきます」という言葉はこれから自分が食べる命に対しての言葉だと思っていました。作ってくれた人の命ともいうべき時間も意味していると思いました。そして食の空腹だけではなく愛が十分に満たされていないことが、差別や非行にもつながるのだと思いました。



高校2年「平和」
伊藤 幸史 神父様
(新潟教区)

高校生活最後の修養会では、竹内神父様のお話から、いのちについて考え直すことができました。いのちの倫理からいのちの尊厳について学びました。そして特定の誰かと出会う確率はほとんど0%であり、いま出会っている人との出会いは奇跡であると分かりました。また、どのような人や物にもその良さや本質があり、人はそれを見つめるために生きるのだと知りました。

私が今回の講話で一番印象に残っているお話は「不完全でも良い人間になれる」ということです。誰にでも短所やコンプレックスはありますが、その人の良いところをそこを補うことが出来る人が良い人間になれるのだと思います。また、他者に行った自分にとって相手に言われた嬉しい言葉や行いは、遅くともいつかは必ず自分の元へ戻ってくることも話されました。



高校3年「愛」
竹内 修一 神父様
(上智大学)

第53回 国際理解に関する弁論大会

公益法人 仙台ユネスコ協会 会長賞 受賞
高校三年 宮本 葵



私はこの弁論大会で「国内における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、今、私たちができること」をテーマに出場しました。現在世界には先進国と、その格差が当たり前となっている貧困問題を抱える発展途上国とがあります。私は二年間行ってきたSGHスーパークローバルハイス쿨の活動を基にそれぞれの課題を忘れることなく高校生として自覚することが重要だと主張しました。

この弁論大会において、他の出場者の皆さんが世界の諸課題に対してどのような考えを持っているのかを知り、知識を深め、共有することができました。私は将来、高校時代に培った経験を糧に日本や世界に貢献してより良い社会を作っていく人になりたいと思っていました。

私はこの弁論大会で「国内における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、今、私たちができること」をテーマに出場しました。現在世界には先進国と、その格差が当たり前となっている貧困問題を抱える発展途上国とがあります。私は二年間行ってきたSGHスーパークローバルハイス쿨の活動を基にそれぞれの課題を忘れることなく高校生として自覚することが重要だと主張しました。

英語検定準1級合格



左から:(高3)成田紗良・佐藤季・長南七美



常にかまきねと取りました。

同窓生からの寄贈

高校8回卒業生の泉田ひろ子(舞踊家・西崎緑仙)さん(1958年3月卒)より舞踊衣装の花嫁衣裳を、高校8回卒業生の同窓会顧問市川琴子さんより桐の箆筒を寄贈いただきました。本学の生徒、留学生にふれさせてほしいとお申し出があったものです。



同窓生の方から寄贈頂いた花嫁衣裳の振袖や色打掛を試着させていただきました。昔からの日本の伝統を受け継いでいる美しい刺繍は、着物の美しさをさらに豪華にしていました。同窓生の方々のお話から、先輩から後輩への想いの深さを感じました。今回貴重な体験をさせていただいたことに感謝し、これからこの着物を皆で大切にしていきたいと思いました。

高校2年 木村 友美香

河北新報「河北みらいプロジェクト」参加

このプロジェクトは高校生が企業等と連携し、宮城の地産地消(米)を普及啓蒙していく活動です。活動は翌年3月まで行われ、お米の座学やオリジナルレシピの開発、販売に取り組む予定です。



左から:(高2)郷家美海、早加みづ紀、板垣慧、本郷美月

卒業生の活躍

上智大学1年 武藤有紀さんの近況報告
(2018年3月卒業 LEコース12期生)



上智大学
総合グローバル学部1年
武藤 有紀

国連広報センターと上智大学が主催する、持続可能な開発目標(SDGs)学生フォトコンテストが開催され、卒業生の武藤有紀さんの作品「過去と現在と未来と」が入賞しました。2018年のテーマは「撮ってみよう!日本で見つけたSDGs」。約600点の応募の中から選ばれました。よろしければ、以下のリンクから作品をご覧ください。

URL http://www.unic.or.jp/news_press/info/30802/

ポーランドから短期留学生 10月~12月



レシニャック・ローザと申します。高校2年です。仙台白百合学園に留学することになりとてもうれしいです。毎日の学校生活は本当に楽しいです。将来の夢は通訳になることですのでみなさんと日本語で話したり、授業を受けたりすることは私にとって大切です。日本の文化や伝統、米料理のことはホストファミリーに教えてもらっています。日本とポーランドの違いはとてもおもしろいです。私もホストファミリーやクラスメイトにポーランドについて教えることを頑張っています。部活は茶道部に入りました。毎週いろいろ学んだり、おいしいお茶を飲んだりしています。日本での体験と知識をとても大切にしたいです。これから私とつながってください。

レシニャック・ローザ

オーストラリアから1年間留学生 4月~12月



こんにちわ。ティア・マクギンと申します。オーストラリアから来ました。4月から仙台白百合学園で勉強しています。4月の自分と比べたら多くの日本語を話せるようになったと思います。まだ完璧に話すことは難しいです。絵を描いたりスポーツをしたり読書することが好きです。一番好きな場所は岩手県です。特に平泉の中尊寺です。日本の文化はとてもきれいです。文化の主要なポイントは平和です。日本の皆さんはいつも平和を願っています。仙台白百合学園の人たちは丁寧でいろいろ助けてくれます。友だちはすべてです。とても熱心です。私はいつも友達に感謝しています。もう少し日本語を頑張りたいと思います。

ティア・マクギン